

ネパールってどんな国？



国旗



赤は国の色
青の縁取りはヒマラヤの空を表し、永遠の繁栄を願う月と太陽が配されています。

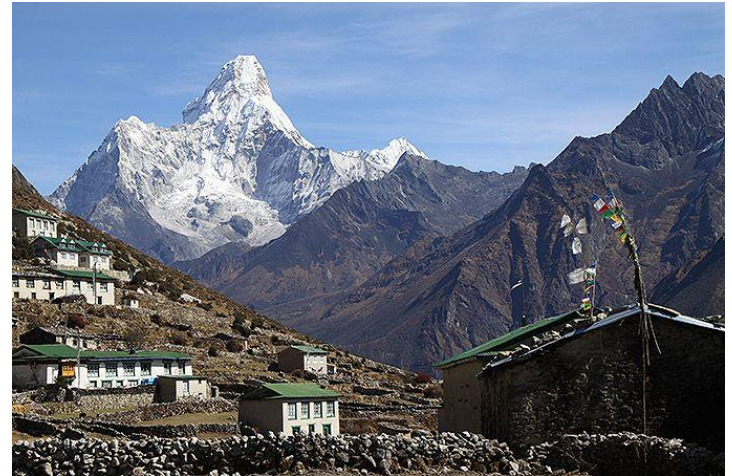
正式名称 : ネパール連邦民主共和国
Federal Democratic Republic of Nepal

- 首都 : カトマンズ
- 人口 : 約2,930万人
(2017年, 世界銀行)
- 人口増加率 : 1.1%
(2017年, 世界銀行)
- 面積 : 約14.7万km²
(北海道の約1.8倍)
- 経度、緯度 : 28.3948 、 84.124



ネパールってどんな国 国の情報

- **人種・民族** : パルバテ・ヒンドゥー (インド・ヨーロッパ語系) がほぼ半数、その他チベット・ビルマ語系など
- **宗教** : ヒンドゥー教 (81.3%)、仏教 (9.0%)、イスラム教 (4.4%)、その他
- **言語** : ネパール語、英語、カースト語
- **通貨** : ネパール・ルピー
- **為替レート** : 1 ルピー (NPR) = 0.89929円 (2020年3月現在)
- **識字率** : 67.9% (2018年)
- **労働形態** : 週休1日 (土曜日) + 祝日
※ 1日8時間労働

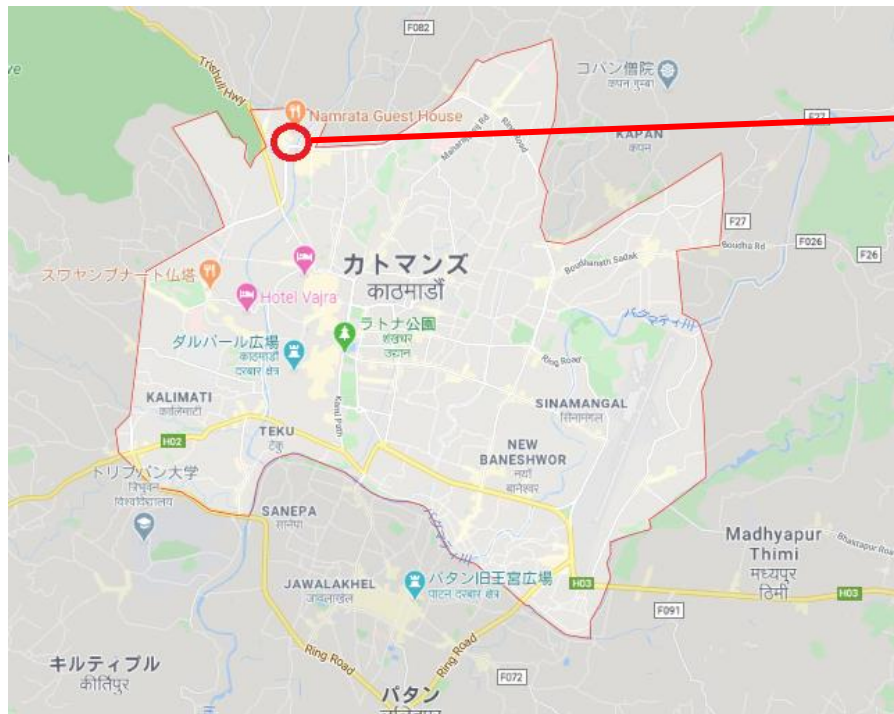


- **学校制度** : 1～8年生 (基礎教育[無償義務教育])
9～12年生 (中等教育)
大学3～5年間
(高等教育学士コース以上)
- **時差** : -3時間15分
(ネパールが正午のとき、
日本は午後3時間15分)
- **一人当たりGDP** : 103,335ルピー (約1,004ドル)
(2017/2018年度,
ネパール財務省)
- **在留邦人数** : 1,147人
(2017年10月1日現在,
海外在留邦人数調査統計)
- **在日当該国人数** : 85,321人
(2018年6月末現在,
法務省在留外国人統計)

ネパールってどんな国 カトマンズと学校所在地

ネパールの首都 カトマンズ (赤丸は学校所在地域)

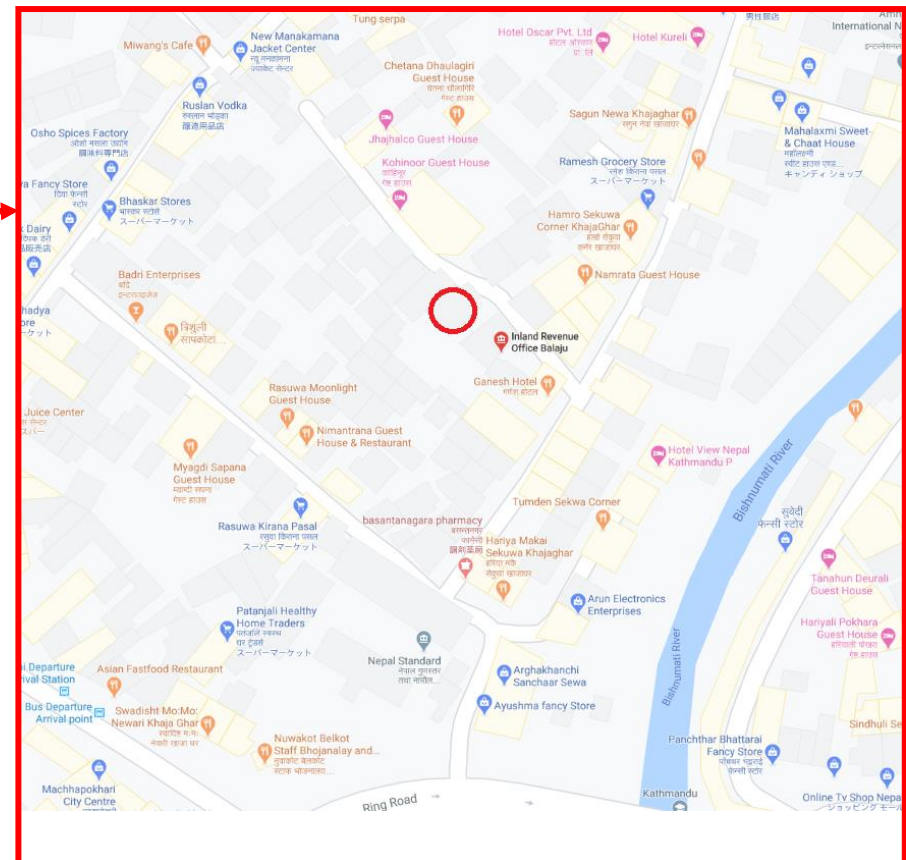
主に使われる言語はネパール語になります。
日本人にとってメジャーではないネパール語での観光は大変！と思いがちですが、観光業も栄えているネパールでは、英語が通じる場所も多くなってきています。
また、1年中暖かい気候で日本のように四季はありません。



学校所在地 詳細

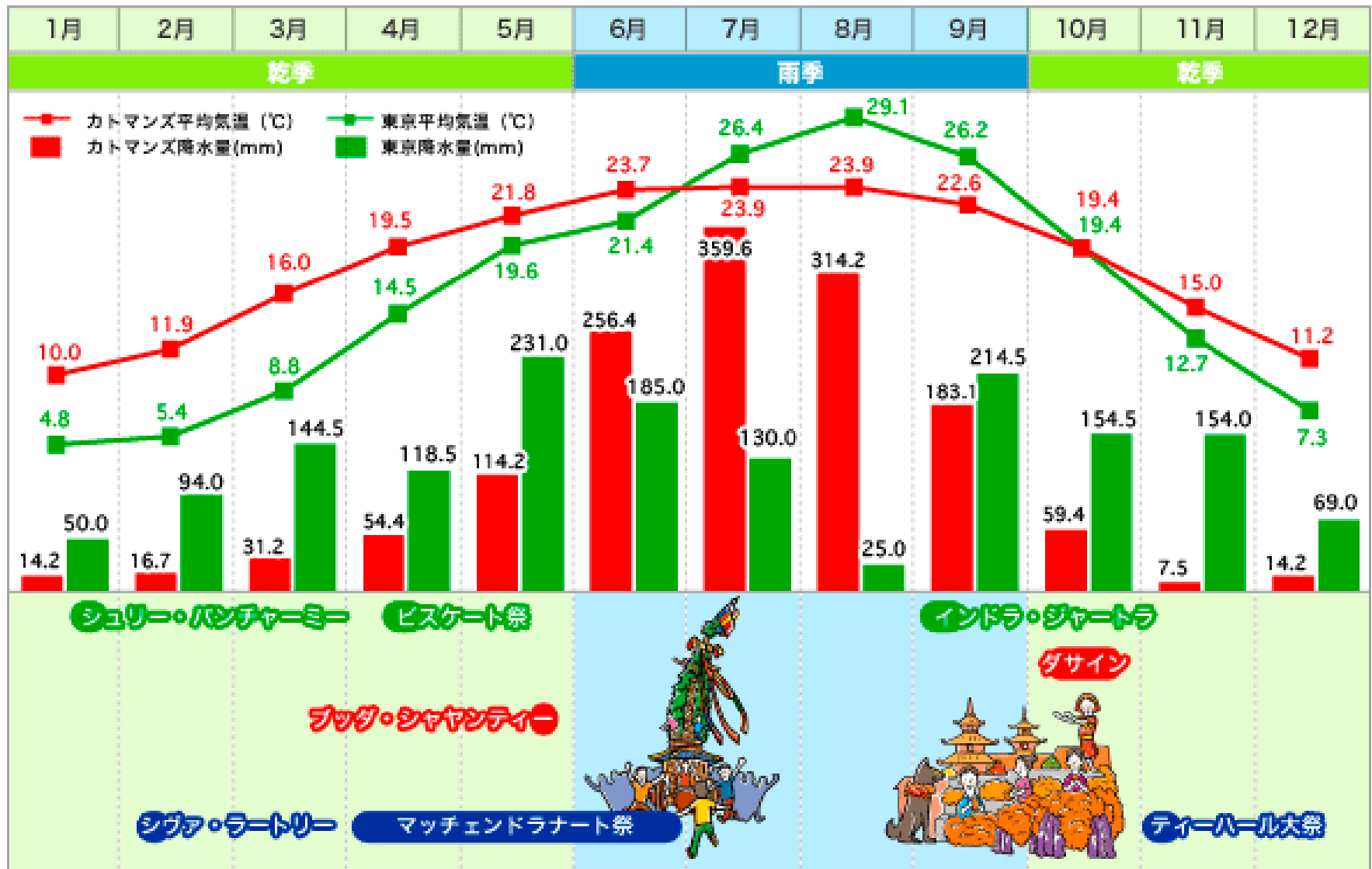
Kathmandu Metropolitan City Ward no. 16,
Kathmandu, Nepal.

カトマンズメトロポリタンシティ16番地、バラズ、カトマンズ、
ネパール



ネパールってどんな国 ネパールの気候・祝日

平均気温とカトマンズの降水量



ネパールってどんな国 ネパール(カトマンズ) の気候 1

首都のカトマンズは実は亜熱帯気候。

1,300mの標高に位置することもあり、冬は東京より暖かく、夏は東京よりも涼しく過ごしやすいです。一年中温暖で南国の花で彩られています。

■春 気温15度～25度

春の訪れは早く1月下旬から2月頃にこちらの暦の立春を迎え、だんだん気温が上がりはじめます。

3月中旬の「ホーリー」（水や色粉を掛け合う祭り）を迎えたら初夏の陽気となり、一気に気温は上昇します。

ネパールのシャクナゲ

(日本の開花時期は、4/10～5/5頃)



旬のフルーツ



■夏 気温7度～30度

湿度が低いため比較的快適です。

この時期、カトマンズ郊外では幻想的なホテルの乱舞が見られスイカ、マンゴー、杏、ライチなどおいしい果物が出回り始めます。

紫外線は強く日焼け対策は必須となります！

■ モンスーン期 気温20度～28度

ほぼ毎日のように夜間から明け方にかけて雨や雹が降ります。日中の雨はゲリラ的に降り、短時間で止むことがほとんどです。雨で緑が鮮やかになり晴れ間からは虹が現れ清々しい季節になります。

モンスーンの厚い雲



光の祭典ティハール



■ 秋 気温9度～25度

秋は乾季となりヒマラヤトレッキングのベストシーズンに入ります。

9～11月はネパール最大の「ダサイン大祭」光の祭典「ティハール」と大型連休の祝日が続きます。

■ 冬 気温2度～18度

12月から1月の短い冬は朝晩の気温は一桁台まで下がり、早朝は盆地特有の濃霧に包まれるようになります。日没後に路上で焚き火をする庶民の姿はネパールの冬の風物詩となっています。

冬のヒマラヤ山脈



2020年 ネパールの祝祭日・お祭りカレンダー

- 1月 15日 (水) : マーゲ・サクランティー (冬至の終わり)
- 30日 (木) : シュリ・パンチャミー (教育機関休日)
- 2月 21日 (金) : マハ・シヴァラトリー (シヴァ神の結婚日)
- 3月 9日 (月) : ファグ・プルニマ (ホーリー)
- 24日 (火) : ゴレ・ジャトラ (馬のお祭り)
- 4月 1日 (水) : ラム・ナワミー (主ラーマの誕生日)
- 2日 (木) : チャイテ・ダサイン (主ラーマのラーヴァナレンに対する勝利)
- 13日 (月) : お正月 (ビクラム歴2077年) (ビスケット・ジャットラ バクタプル)
- 22日 (水) : 母の日
- 5月 7日 (木) : ブッダ・ジャヤンティ (ブッダの誕生日)
- 28日 (木) : ガナタントラ・ディワース (リパブリック・ディ)
- 29日 (金) : エベレスト初登頂記念日
- 6月 29日 (月) : 田植え祭り
- 8月 3日 (月) : ジャナイ・プルニマ (神聖な糸祭り)
- 4日 (火) : ガイ・ジャトラ (牛のお祭り)
- 11日 (火) : クリシュナ・アスタミー (クリスナ神の誕生日)
- 18日 (火) : 父の日
- 21日 (金) : ティージ (主にパルヴァティ女神とシヴァ神との彼女の結合に捧げられました)
- 23日 (日) : リシ・パンチャミー (サブタ・リシの伝統的な礼拝)
- 9月 1日 (火) : インドラ・ジャトラ (インドラ神の日を祝う)
- 10月 17日 (土) : ガタスタパナ (ダサイン大祭初日)
- 23日 (金) : フルパティ (ダサイン大祭)
- 24日 (土) : マハー・アスタミー (ダサイン大祭)
- 25日 (日) : マハー・ナワミー (ダサイン大祭)
- 26日 (月) : ダサミー／ダサイン・ティカ : (勝利の日)
- 31日 (土) : コジグラト・プルニマ (ダサイン大祭)
- 11月 13日 (金) : カーグ・ティハール (ティハール大祭初日)
- 14日 (土) : ククル・ティハール (犬のお祭り)
- 15日 (日) : ラクシュミー・ブジャ (富の女神楽趣味が崇拝される日)
- 17日 (火) : バイ・ティカ (姉妹は兄弟の額にティカと適し、彼らが与える保護に感謝します。)
- 21日 (土) : チャート・パルバ (紙の太陽に捧げます)

ネパールってどんな国 ネパールの生活文化

水事情

衛生事情が良くありませんので、**水道水をそのまま飲まない**ようにしてください。
 ジュースに入っている**氷にも生水**が使われているので注意が必要です。
 なるべくミネラルウォーターを飲むようにしましょう。

- レストランや食堂
 ウマレコパニ（沸騰させた水）、あるいはミネラルウォーターを注文するようにしましょう。
- 観光にはミネラルウォーター
 観光やトレッキングにはミネラルウォーターを持参し、こまめに水分補給をしましょう。
- ミネラルウォーター（1ℓ）物価
 スーパーや売店などで約15～50ルピー。



トイレ事情

ネパールには**公衆トイレが少なく**、あまり衛生的とはいえませんので、出かける前にホテルで済ませておいた方が無難となります。

- ティッシュは必需品
 観光客向けのトイレを除き、ネパールではトイレットペーパーは使わず、水で洗い流すのが一般的となります。
ティッシュを持ち歩くようにしましょう。
- さらに気になる方
 ティッシュに加えて**ウェットティッシュやポータブルウォッシュレット**を持参すると便利です。



買い物

ネパールでは多くのお店が露店型のバザール形式です。お買い物などは、高級店などの店舗でない限り、定価や値段がついていることはありません。
 お買い物の際、小銭が生じるときは、値切り交渉している姿も多く見られます。



首都カトマンズの市場

中世アジアの街並みを残す市場「インドラチョーク」。古くから続くこのバザールは、市民の生活や買い物に欠かせない場となっております。カトマンズ旧市街のメインストリートで、毎日多くの地元の人と観光客で賑わっております。

ネパールってどんな国 ネパールの食事

ネパールはまだまだ発展途上の国で、食事やレストランの衛生面で心配される方も多いと思いますが、欧米人を中心に観光客が多く、**外国人向けのレストラン等ではある程度の水準には達しております。**

ネパール レストラン料理 1



ネパール レストラン料理 2



食事のマナー

「インドでは**左手を使って食事してはいけない**」というのは日本でもよく知られている話ですが、隣国**ネパールでもこれは当てはまります。**

左手は、綺麗ではないと考えられております。
 というのも、左手でお尻を拭くからです。
 食事の時や何かものを渡す時には必ず右手を使います。

お祈りする時、神様に何かを捧げる時にも右手を使うケースが多いです。

ほとんどのネパール人は食べる前に神様にお祈りします。
 神様のための一口分を自分のお皿の前にあげてから食べる習慣があります。

ネパールでは日本食も食べれます



ネワール族の古都 バグタプル



かつて中世の時代に栄えたカトマンズ・パタン・バグタプルの3王国の旧市街は、2015年の地震の影響が残るものの、活気を取り戻しつつあります。

世界遺産のルンビニ



ブッダ生誕の地と菩提樹

仏教はインドで生まれたことから、ブッダはインド人であると思う方が大勢いらっしゃいますが、実はネパールで生まれ、インドで悟りを開いたのでお釈迦様はネパール人だったのです。

ネワール族の古都 バグタプル



倒壊した寺院も数棟ありますが、相変わらずエキゾチックな雰囲気醸し出しています。
 この3都にある寺院や建物の窓や縁には木彫りの彫刻が埋め込まれ、ヒンズーの神々がかたどられています。
 その技術の高さと美しさもさながら、圧倒的なその数の多さから「人よりも神々が多く棲む街」と呼ばれるようになりました。

飛行機は1席と2席×10列の30人乗りプロペラ機。
飛び立って市内を覆う霧を抜けるとヒマラヤの世界が広がります！



ランターン峰から美しい峰々を真横に眺め、約20分ほどするとエベレストが見えてきます。
この山々の全部が富士山の倍以上の高さがあります。



一人ずつコクピットに呼ばれ、大パノラマのヒマラヤの世界を見せてくれます。
全員がコクピットから見終わったら、旋回して空港へ。



ネパールってどんな国 人の気質

ネパールの人達の性格と心理的特徴ですが、やはりほとんどがヒンドゥー教徒・仏教徒ということもあり、宗教に大きな影響を受けております。
 何よりも助け合いの精神がしっかりと根付いており、ネパール人はとてもフレンドリーで、素朴で人なつっこい人が多いです。また、誰でも受け入れてくれる包容力があります。
 底抜けに明るく、どんな困難な状況に置かれても非常に樂觀的に考えて強く生きていきます。



2015年にマグニチュード7を超える大地震がネパールを襲いました。

しかしながら買占めなどはおこなわれず、暴動も発生せず、助け合いの精神により、子供や高齢者にみなが優しく世界各国から賞賛を浴びました。

子供や高齢者が疲れていたらみんなで看病したり、ぐっすり眠れるスペースをみんなで確保したりなど、まさに助け合いの精神がこの大災害の中にて遺憾なく発揮されました。

また、このような災害時に、外国人にも優しいのです。多くの外国人がこのネパール人の優しさに触れ感激したようです。

ネパールってどんな国 ネパールと日本の助け合い

ネパール大地震 2015年4月25日11時56分

ネパールの首都カトマンズ北西77km付近、ガンダキ県ゴルカ郡サウラパニの深さ15kmを震源として発生した地震です。

日本からの支援

2015年4月25日には国際緊急援助隊の派遣を決定し、翌26日に安倍晋三首相と岸田文雄外務大臣が被災者へのお見舞いと復興支援の用意を伝えるメッセージを発し、国際協力機構(JICA)を通じて毛布やテントなど2,500万円相当の緊急援助物資を供与すると共に、10億円規模の緊急無償資金協力を決定しました。更に第二陣の派遣も決定し28日に出発、29日から活動を開始しました。

熊本地震 2016年4月14日21時26分

ネパール地震から1年あまり。その際、日本から受けた支援に対する恩返しの意味を込めて、在日ネパール人の人たちが熊本地震で被災地入りし、炊き出しを行った。29日には、北海道から沖縄県まで全国16都道府県の計26か所で、感謝と追悼のセレモニーを開催しました。

令和元年台風第19号 2019年10月12日 上陸

【とちぎ ネパール コミュニティー】のメンバーは「2015年のネパール大地震では日本から多くの寄付金が集まるなど支援をしてもらった。その恩返しをしたい」と呼び掛けました。

地震後のカトマンズ



支援活動をするジギャンさん
 (右)
 弊社の顧問を務めております



ネパールにて救護活動する自衛隊



浸水して使えなくなった家具を運び出すネパール人団体のボランティア

